

2024 年度事業報告書

2025 年 3 月

助成プログラム名	日本財団「子ども第三の居場所」事業
事業 ID	2024004118
事業名	千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデル 1 拠点の運営支援（最終年度）
団体名	公益財団法人 ちばのWA地域づくり基金

1. 事業の目標

千葉県木更津市のコミュニティモデルの拠点を運営する団体が、助成期間中に組織基盤強化や事業改善、地域連携促進など伴走支援を行い、助成期間終了後の事業継続と更なる発展ができるようにする。

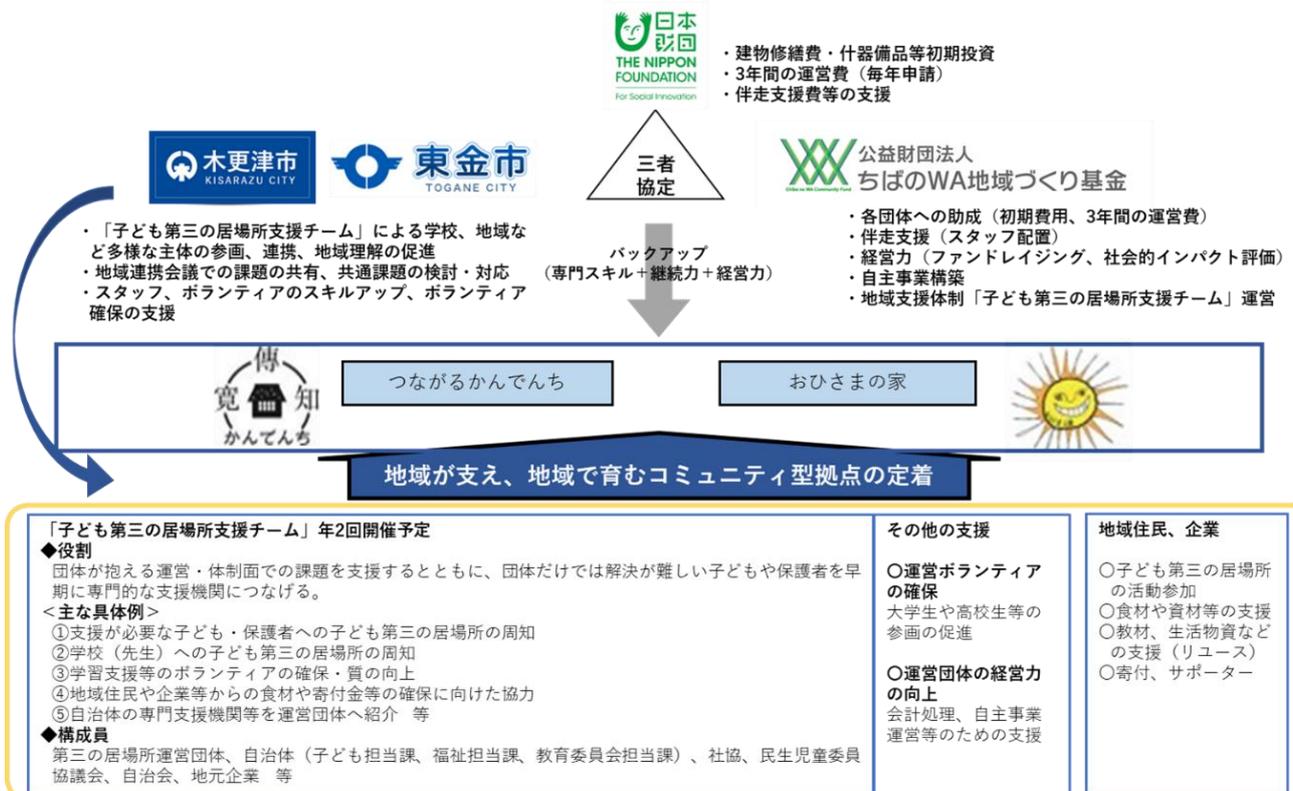
＜拠点の自立支援の流れ＞

- ・居場所の安定した運営、充実と地域への周知を目指す
- ・自立的な運営を目指す経営能力づくりをサポートしていく
- ・関係者の満足度 80%以上（拠点スタッフ・利用者・家族にヒアリング）

2. 事業実施体制の構築

本事業は、子ども第三の居場所の拠点である、つながるかんでんち（木更津市）が「子ども第三の居場所」の運営およびイベント開催などを通じて、地域住民はじめ行政、自治会、企業や関係団体との交流促進を図る。ちばのWA地域づくり基金は、運営支援および持続的に事業を営むための種々の支援業務を行って、コミュニティ型拠点の定着を図るものである。

「子ども第三の居場所」コミュニティモデル全体イメージ



3. 事業内容

木更津拠点「つながるかんでんち」における児童の生活支援や学習支援等の居場所「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援を実施した。

コミュニティモデルの運営については、3年目となる。

木更津市と拠点運営団体（一般社団法人かんでんち）との連携体制の構築、施設運営の向上および組織基盤の改善を図るための支援を行った。事業の実施は当初の計画とおりに行うことができた。

1) 拠点の居場所運営支援

定期面談の実施

拠点運営団体と毎月定期面談および打合せを行い、進捗状況の確認、業務支援に係る指導・助言を実施した。特に利用者増加に向けた広報、会計実務について随時、担当者への相談対応を実施した。

2) 研修会の開催

ボランティア研修会を以下のとおり開催した。

日時：2025年3月14日（金）10：00～12：00

場所：つながるかんでんち

参加者：一般社団法人かんでんちスタッフ・ボランティア10名、ちばのWA地域づくり基金職員1名

内容：発達障害児への理解を深める「気になる子」への対応について

講師：認定NPO法人発達わんぱく会 理事長 小田知宏氏

https://www.wanpaku.org/', 'お申込みはQRコードか', '主催：公益財団法人ちばのWA地域づくり基金', '共催：一般社団法人かんでんち', '協賛：日本財団子ども第三の居場所コミュニティモデル事業協賛'"/>



3) 自治体と拠点運営団体との連携体制の構築

地域連携会議

木更津市、近隣小学校、保育園、地域住民（区長、民生児童委員）、社協、企業等を交えた子どもの支援に関する情報共有会を通じて、子ども第三の居場所事業の周知を図り、活動報告・課題共有・解決策の検討、連携・協力体制構築を図った。

地域交流会：4月15日、5月22日開催

活動報告会：2月28日開催

2024年度つながるかんでんち活動報告会 「地域の子どもたちに関わる私たちの重なり方～学校との連携の可能性～」	
開催日時	2025年2月28日（金）13：30～15：30（受付13：00～）
開催場所	寛傳知 2階 大広間（木更津市中央2-8-18）
参加者	18名（内運営スタッフ5名）
参加費	無料
主催	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
後援	木更津市、木更津市教育委員会
共催	一般社団法人かんでんち
助成	公益財団法人日本財団
開催目的	2022年3月に開設した子ども第三の居場所「つながるかんでんち」について、運営団体である一般社団法人かんでんちが地域住民や関係機関に向けた報告を行うことで、地域が支え地域で育むコミュニティモデルの定着と、地域支援体制のさらなる強化を目指す。 また近隣小学校の先生に活動を理解してもらうことにより新年度新入生への利用につなげる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ、趣旨説明 ・「つながるかんでんち」活動報告（一般社団法人かんでんち） ・「困難を抱える子どもの現状について」（第一小学校校長先生） <p><休憩></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション・全体共有 <p>テーマ：「学校と子ども第三の居場所の連携の可能性」</p> <p>①不登校、性の悩み、障害など困難を抱える子どもや親を地域の中で支えていくために学校と連携して出来ることは何か？</p> <p>②子ども第三の居場所だからこそその役割を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉会のあいさつ、アンケート記入

広報	チラシ配布（市内近隣小学校、近隣の民生委員・主任児童委員、木更津市内の公共施設、NPO等）、当財団HP、メールマガジン
参加者の概要	教育関係、NPO、ボランティア、主任児童委員、メディア関係、スタッフ
アンケート結果	満足度：大変満足 30.0% まあまあ満足 70.0%
アンケート抜粋	<p><印象に残ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える子どもをどう助けるかをグループごとに考えていく時間はとても大切なことだと思いました ・本音で話すことができました ・第三の居場所「かんでんち」を支えている人たちがたくさんいるのを知りました ・いろいろな年代の方のお話が聞けて、一緒に話をするのができて楽しかったです ・校長先生の子どもたちに対する真摯な向き合い方が印象的でした ・子どもの居場所について本気で考えられる場所だと思いました <p><子どもを取り巻く環境や地域の課題について感じていること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える子の多くは「親の問題」と直結してることが多いと思います。横のつながりのある社会になるといいと思います ・辛い、苦しいとつぶやいていても始まらないけど、ここかんでんちはきつと役立つ場所になると思いました ・子どもたちが好き勝手に大騒ぎできる（とにかくしゃべる）環境 ・やはり個別主義になっているのをいろいろな世代、環境を超えて混ぜり合えたらうれしい ・もっと「かんでんち」を広めるためにはどうしたらいいのか？ボランティアを集めるのにもどう活動をしていったらいいのか？ ・地域の人たちがいろいろとつながることが大切だと感じました ・家庭の格差を感じます。経済的なことは大きいと思いますが、また経済的には良くても人間的なつながりがうまく取れないとか ・学校も家庭も精いっぱいだし、かといって人力以外解決策はないのでお金と時間のある人たちのやりがいを作り出すことが大切かと思いました
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながるかんでんち」に関わる様々な方が参加し、2024年度の活動報告をした。 ・近隣小学校の校長先生が参加、学校や児童の状況などの話題提供が参加者の理解を深めた。 ・後半のグループディスカッションでは4グループに分かれ2つのテーマで行い、地域の子どもたちが置かれている状況や課題、つながるかんでんちが学校でもない家庭でもない居場所として存在する意義を話し合った。 ・「つながるかんでんちの良さをもっと知ってほしい」という声もあり、情報発信の課題が浮き彫りになった。

2024年度つながるかんでんち報告会
 地域の子どもたちに関わる私たちの重なり方
 ～学校との連携の可能性～

子ども
 第三の
 居場所



日時 2月28日(金) 13:30-15:30 (受付13:00)

場所 かにでんち (寛得知)
 水更津市中央2-8-18 定員 20名

申込 右記申し込みフォームまたはお電話でお申し込みください
 (締切2月27日(木))

内容
 地域には困難な状況に置かれている子どもたちが多くいます。その子どもたちが地域で健やかに育つ環境をつくるために、学校と子ども第三の居場所の連携の可能性について、皆さんと考えていきます。
 つながるかんでんちの2024年度の活動報告も行います。

問い合わせ先
 一般社団法人かにでんち
 〒292-0067 水更津市中央2-8-18
 電話：0438-25-8344
 メール：kandenchi0901@gmail.com

「子ども第三の居場所」は日本財団が開設・運営を支援しています。
 主催：一般社団法人かにでんち 共催：公益財団法人ちびの街A地場づくり基金
 後援(予定)：水更津市、水更津教育委員会



4) 計画と実績の対比

会議等の名称	計画	実績	備考
定期面談（月次面談1回/月）	12回	13回	計画とおり実施 その他状況に応じ随時実施
研修会・報告会	2回	2回	計画とおり実施 2/28,3/14
地域連携会議	2回	2回	4/15,5/22

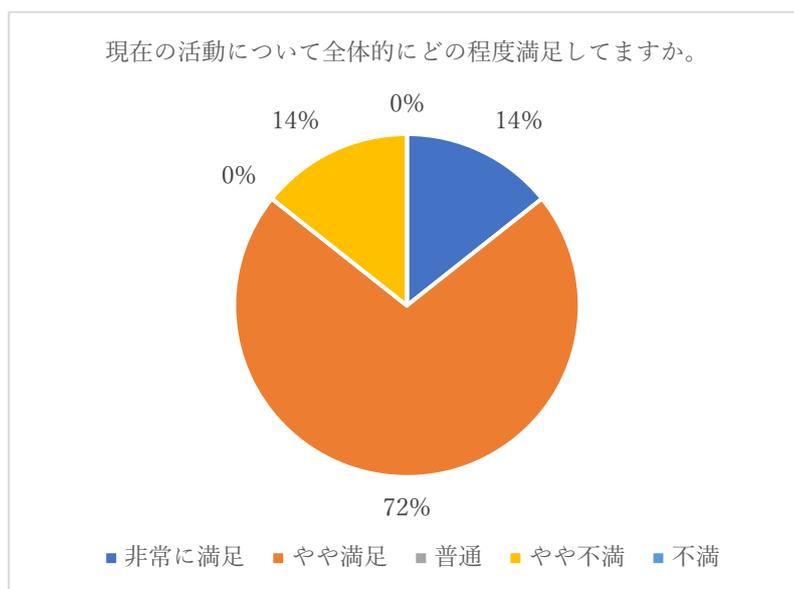
4. 拠点における関係者の満足度について

拠点において、関係者（拠点スタッフ・利用者・保護者）の満足度を把握するためのアンケート調査を実施した。その結果、拠点スタッフおよび利用者・保護者とも図1に示すとおり、全体的な満足度は本事業の目標である80%以上を達成した。アンケート調査ではスタッフ・ボランティア7人、利用者・保護者11人から回答を得た。

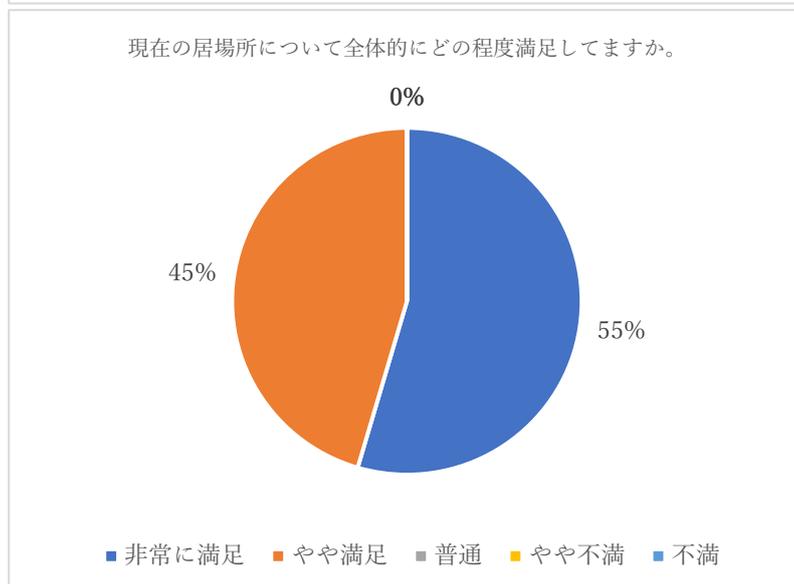
図1 関係者の満足度を把握するためのヒアリング調査結果

※満足度：非常に満足、やや満足と回答した割合

【拠点スタッフ】 満足度：91%



【利用者・保護者】 満足度：100%



子ども第三の居場所の満足度に関する調査（アンケート・聞き取り）

拠点名：つながるかんでんち（木更津市）

【拠点スタッフ向け】

		人数						
Q1	属性	スタッフ	2					
		ボランティア	5					
		その他	0					
	合計		7					
				非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満
Q2	現在の活動について全体的にどの程度満足していますか。			1	5	0	1	0
Q3	現在の活動にやりがいを感じますか。			3	4	0	0	0
Q4	居場所内の作業環境に満足していますか。			1	6	0	0	0
Q5	イベント企画などへの参加しやすさに満足していますか。			1	5	1	0	0
Q6	今後も活動したいと思いますか。			4	3	0	0	0
Q7	その他要望	①色々な年代の人々が集まる場所はなかなかないのでかんでんちは素晴らしいと思います。沢山の人が集まれる居場所になってほしいです。 ②楽しく過ごせて感謝です。報連相がスムーズに行くとよいかと思ます。忙しい理事さんにもう少し若手の力も必要かと思ます。 ③食ボラミーティングをさらに充実していきたいと思ます ④イベントの企画と準備は早めに行いたい。						

【利用者・家族向け】

		人数						
Q1	属性	小学生	6					
		中学生	0					
		その他	0					
		保護者	5					
	合計		11					
				ほぼ毎回	週1回程度	月1回程度	その他	
Q2	どのくらいの頻度で利用しますか。ほぼ毎回、週1回程度、月に1回程度、その他			0	7	0	4	
				非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満
Q3	現在の居場所について全体的にどの程度満足していますか。			6	5	0	0	0
Q4	居場所に気軽に來ることが出来ますか。			8	2	1	0	0
Q5	スタッフやボランティアさんの対応はどうですか。			11	0	0	0	0
Q6	食事やおやつに満足していますか。			7	3	1	0	0
Q7	イベントの内容や回数（頻度）は満足していますか。			5	4	2	0	0
Q8	今後も居場所を利用したいと思いますか。			9	1	1	0	0
Q9	その他要望	①高学年になりいぜんのように頻繁に顔を出すことが難しくなっても子どもが行きたいなど思った時に行ける誰かがいてくれる場所というのは本当に有難いと思ます。いつもありがとうございます。 ②ご飯のおかわりができるとありがたい。ものづくりの時間がほしい。 ③利用できる時間が短いのもう少し長く利用できるが良いです。 ④いつもお世話になっておりとても助かっております。利用できる曜日を増やしてもらえたらさらに助かります。						

